



平成 24 年 5 月 15 日

各 位

会 社 名 株式会社 SmartEbook.com
代表者名 代表取締役 安嶋 幸直
(JASDAQ・コード 2330)
問 合 せ 先 取締役財務部長 飯田 潔
電 話 0 9 2 - 2 6 3 - 5 9 1 1

平成24年12月期第1四半期業績と前年実績との差異に関するお知らせ

当社は、平成24年12月期第1四半期（平成24年1月1日～平成24年3月31日）の連結業績と、前年実績（平成23年1月1日～平成23年3月31日）の連結業績との差異について、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 平成 24 年 12 月 期 （平成 24 年 1 月 1 日から平成 24 年 3 月 31 日）の連結業績と前年実績との差異

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり四半期純利益
平成 23 年 12 月 期 第 1 四 半 期 実 績 (A)	377	△388	△372	△669	円 銭 △302.45
平成 24 年 12 月 期 第 1 四 半 期 実 績 (B)	152	△216	△171	△172	△78.75
増減額 (B-A)	△225	171	201	496	—
増減率 (%)	△59.7%				—

2. 差異が生じた理由

平成24年第1四半期連結業績は、流通チャネルの更なる拡大と商品パッケージの大量生産、ビューワーへのサービス機能の技術開発、キラーコンテンツの獲得を中心に進めてまいりました。中国通信キャリアのスマートフォン向けマーケット“閲覧基地”“動画基地”との契約締結や、中国大手SNSの「開心網」へのサービス開始、無料メッセージアプリとの協業、メーカーマーケットWindows phoneへの配信チャネルの拡大、他社アプリの配信代行等、主に通信キャリアとのリレーションを強化することはできたものの、商品パッケージやビューワーサービス機能の提供の遅れにより、当第1四半期連結累計期間における売上貢献にはなりません。また、売上原価及び販売管理費及び一般管理費につきましては、フィーチャーフォンサイトの統合によりランニングコストは大幅に減少したものの、売上高の減少により、営業損失の改善には至りませんでした。

この結果、当社グループの連結業績につきましては、売上高152百万円(前年同期比59.7%減)、営業損失216百万円(前年同期は営業損失388百万円)、経常損失171百万円(前年同期は経常損失372百万円)、四半期純損失172百万円(前年同期は四半期純損失669百万円)となりました。

以上